



(株)WASC基礎地盤
研究所(高森洋社長)
主催、(株)日本住宅保証
検査機構(早川博社
長)、ハイスピードコ
ーポレーション(株)(堀
田誠社長)協賛の「天
災に強い地盤づくり」
セミナーが22日、鹿児
島の天文館ビジョン
ホールであった。ビル
ダーや設計者など約40
人が出席し、郷土の地
盤特性や最新の地盤解
析技術などについて理
解を深めた。

講師を務めたのは、

天災に強い地盤づくりセミナー

最新解析技術を解説

森社長や堀田社長、田
中義人(株)三栄地研研究
顧問。このうち、堀

田氏は「SWSででき
る、ローコスト新型サ
ンプリング法と液状化
対策」と題し講演し「写
真」。その中では東日
本大震災による戸建て
住宅の不同沈下被害が
2万7000棟におよ
んだとし、「住宅が耐
えても地盤に起因した
被害が出た。今後、設
計士やビルダーの責任
問題が明確になる」と
述べた。

そして、同社開発の
SWS調査機に設置す
るサンプリング器が低
予算で高精度な土質判
定ができることを説明。
液状化対策として定評
ある「ハイスピード工
法」についても技術の
概要や効果を紹介した。

参加者は自身の業務
に生かそうと熱心に聴
いていた。